

認知グループ

平成 27 年度 第 5 回

議事録

【年間テーマスピーチロック】

平成 27 年 12 月 26 日提出

日付	平成 27 年 12 月 12 日 (土)			
場所	福ビル		記録者名：古我城真由美	
出席者 (敬称略)	稲築病院 大石 智弘	大牟田共立病院 古我城 真由美	西福岡病院 落合 慶子	原土井病院 藤井 貴子
	東福岡病院 藤井 佐和子	松尾内科病院 石元 孝幸	水戸病院 黒川 健祐	福西会南病院 平田 美恵子
	北九州津屋病院 吉武 朋子			
テーマ	1. スピーチロックについてのスタッフの認識 2. スピーチロックの代替えへの検討			
結論	1. スピーチロックに対しての認識が薄く、知らないスタッフもいる。スピーチロックにたいしてのアンケートを実施している所もあり、今後は認識を強く持ち取り組みを働きかけるようにする。忙しいとき、マンパワー不足の時にスピーチロックが出やすい状況にある。 2. 職員間で言葉掛けに気をつけるように話し合いを適宜おこない、常にスピーチロックがでてないか考えながら、言葉使いに気をつける。 使用してはいけない言葉を今回をきっかけとして気をつけるようにし、相手をおもいやって声掛けする事が、無駄な抑制につながらない代替法。			
決定事項	発表準備で、共感できたこと、取り組もうと思ったことを報告しあう			
備考	司会：大石 智寛 書記：古我城 真由美			
次回討論項目	今まで話し合ったことの振り返り、どうあるべきか今後の目標を検討			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス [info@fukuokakenryo.jp](mailto:info@fukuokakenryo.jp)